

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	川崎市有馬・野川生涯学習支援施設	評価対象年度	平成25年度
事業者名	事業者名 アクティオ株式会社 代表者名 代表取締役 鈴木 悟 住 所 東京都目黒区下目黒1-1-11	評価者	生涯学習支援課長
指定期間	平成24年4月1日～平成29年3月31日	所管課	宮前区役所生涯学習支援課

2. 事業実績

利用実績	平成25年度 利用実績 ( )内は24年度					地域図書室貸出し H25年度 79,606冊 H24年度 79,939冊 H23年度 79,548冊  市立図書受渡し H25年度 28,528冊 H24年度 27,489冊 H23年度 26,720冊																														
		集会室(有料)	和室教養室(有料)	学習室(有料)	グループ室		フリースペース・ギャラリー																													
	利用人数(人)	27,344(22,860)	10,489(9,433)	17,966(17,965)	4,141(2,934)		8,221(4,193)																													
	利用件数(件)	816(829)	1,115(986)	1,359(1,346)	587(351)	765(340)																														
	利用率(%)	78.4%(79.6%)	35.7%(31.6%)	43.5%(43.1%)	21.1%(12.6%)	55.1%(24.5%)																														
	来館者総数	H25 76,666人	H24 63,789人	増減 20.2%増																																
収支実績	<table border="1"> <thead> <tr> <th>収入の部 科目</th> <th>予算額 (①)</th> <th>決算額 (②)</th> <th>増減額(①-②)</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>指定管理委託料</td> <td>43,064,588</td> <td>43,064,588</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>利用料金収入</td> <td>4,500,000</td> <td>4,225,118</td> <td>274,882</td> <td>学習室・教養室等施設提供</td> </tr> <tr> <td>雑収入(印刷、自販機)</td> <td>490,000</td> <td>604,860</td> <td>△ 114,860</td> <td>印刷代、自販機手数料</td> </tr> <tr> <td>その他(受講料等)</td> <td>2,282,000</td> <td>3,115,950</td> <td>△ 833,950</td> <td>講座・教室の開催増</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>50,336,588</td> <td>51,010,516</td> <td>△ 673,928</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					収入の部 科目	予算額 (①)	決算額 (②)	増減額(①-②)	摘要	指定管理委託料	43,064,588	43,064,588	0		利用料金収入	4,500,000	4,225,118	274,882	学習室・教養室等施設提供	雑収入(印刷、自販機)	490,000	604,860	△ 114,860	印刷代、自販機手数料	その他(受講料等)	2,282,000	3,115,950	△ 833,950	講座・教室の開催増	合計	50,336,588	51,010,516	△ 673,928		
	収入の部 科目	予算額 (①)	決算額 (②)	増減額(①-②)	摘要																															
指定管理委託料	43,064,588	43,064,588	0																																	
利用料金収入	4,500,000	4,225,118	274,882	学習室・教養室等施設提供																																
雑収入(印刷、自販機)	490,000	604,860	△ 114,860	印刷代、自販機手数料																																
その他(受講料等)	2,282,000	3,115,950	△ 833,950	講座・教室の開催増																																
合計	50,336,588	51,010,516	△ 673,928																																	
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>支出の部 科目</th> <th>予算額 (①)</th> <th>決算額 (②)</th> <th>増減額(①-②)</th> <th>主な内訳( )は予算</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">運営管理費</td> <td rowspan="5">45,851,588</td> <td rowspan="5">44,720,979</td> <td rowspan="5">1,130,609</td> <td>人件費 24,563,551 (25,649,000)</td> </tr> <tr> <td>諸謝金 2,573,108 (2,344,000)</td> </tr> <tr> <td>消耗品・図書等 2,413,991 (2,982,000)</td> </tr> <tr> <td>委託費 7,121,640 (7,000,000)</td> </tr> <tr> <td>光熱水費・他 6,871,173 (6,809,588)</td> </tr> <tr> <td>租税公課 1,177,516 (1,067,000)</td> </tr> <tr> <td>収支差額</td> <td>4,485,000</td> <td>6,289,537</td> <td>1,804,537円の増</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					支出の部 科目	予算額 (①)	決算額 (②)	増減額(①-②)	主な内訳( )は予算	運営管理費	45,851,588	44,720,979	1,130,609	人件費 24,563,551 (25,649,000)	諸謝金 2,573,108 (2,344,000)	消耗品・図書等 2,413,991 (2,982,000)	委託費 7,121,640 (7,000,000)	光熱水費・他 6,871,173 (6,809,588)	租税公課 1,177,516 (1,067,000)	収支差額	4,485,000	6,289,537	1,804,537円の増												
支出の部 科目	予算額 (①)	決算額 (②)	増減額(①-②)	主な内訳( )は予算																																
運営管理費	45,851,588	44,720,979	1,130,609	人件費 24,563,551 (25,649,000)																																
				諸謝金 2,573,108 (2,344,000)																																
				消耗品・図書等 2,413,991 (2,982,000)																																
				委託費 7,121,640 (7,000,000)																																
				光熱水費・他 6,871,173 (6,809,588)																																
租税公課 1,177,516 (1,067,000)																																				
収支差額	4,485,000	6,289,537	1,804,537円の増																																	
サービス向上の取組	・学習室等の施設提供では、利用者要望に応え8時55分の開館により5分前入館を可能とし、開館時間の9時から直ぐに部屋の利用が可能となるよう体制を組んでいる。 ・地域図書室の環境整備に努め、アリーノ蔵書に限り受付業務(貸出・返却)を全日9時から20時に延長する取り組みにより利用者の利便性に配慮している。また、幅広い年代を対象とした図書の選定・購入を進めアリーノの蔵書の拡充を図った。 ・施設の案内・周知に向けて、地域団体と連携を深めながらフェスタや音楽コンサートを開催し利用者の拡大を図るとともに、事業を通じて地域との信頼、協力関係の構築に努めた。 ・地域での市民講師の発掘や受講者の学習グループ化へ結びつける教室を開催するほか、アリーノサークルネットワークを立ち上げ、活動団体の紹介小冊子を作成してサークル団体と生涯学習入門者との架け橋となる役割を担うなど、地域活動団体の育成、支援体制を強化した。																																			

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
総合的な運営状況	基本方針	公の施設としての理念を尊重し、生涯学習支援施設としての役割や目的を果しているか。	5	3(0.6)	3
	事業成果	事業実施による成果の測定・検証が適切に行われているか。	5	3(0.6)	3
	利用促進	施設の利用促進に向けた取り組みが成されているか。	5	4(0.8)	4
	利用者満足度	利用者満足度調査を実施し、調査結果を踏まえた満足度向上のための具体的な取組が行われているか。	5	3(0.6)	3
	(評価の理由)	●施設の設置目的である生涯学習の振興、市民活動を支援する目的を十分に理解し、地域に浸透した運営がなされた。事業実施状況や利用状況、収支状況は月例報告として毎月詳細に報告されており、所管課と連携して市民サービスの向上に努めた。 ●利用者の学習ニーズを把握するために講座や学級実施後はアンケートを実施し、検証した結果を他の事業の企画へ反映させた。「生涯学習支援施設利用者懇談会」や「市民活動支援コーナー運営委員会」等では、事務局を担いながら利用者の意見、要望を受け止め、苦情等への迅速な対応を図るなど、活動団体や利用者を大切にしている姿勢が地域に受け入れられ、学習利用者や地域団体との信頼関係を築いた。 ●地域団体の会合等に積極的に参加し、ネットワークを拡大しながら施設利用や事業案内等に努めた。町内会・自治会で広報紙の回覧を開始したほか、有馬・野川地域以外にも情報発信するなどの取り組みにより、施設利用者数が前年度比20.2%の増となった。 ●利用者アンケートでは貸館やグループ学習室、図書室別に調査することで利用者別の傾向を把握、分析し、改善策を施設運営に生かしている。アンケート結果では、職員の接遇や施設環境等で高い満足度を得ている。			
管理業務の実施状況	維持管理等の再委託	施設利用提供に支障をきたすこと無いう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に行っているか。	5	3(0.6)	3
	個人情報保護や情報公開	個人情報の保護や情報の公開を適切に行っているか。	5	3(0.6)	3
	人員配置	円滑な施設運営に必要な人員配置(資質・ローテーション等)を行っているか。	5	3(0.6)	3
	人材育成	各種研修等を行うなど、人員の資質の向上を図っているか。	5	3(0.6)	3
	危機管理	利用者の安全の確保及び有事の際の適切・迅速な対応のための危機管理体制がとられているか。	5	3(0.6)	3

管理業務の実施状況	(評価の理由) ●施設の維持管理については、建物総合管理委託により日常点検をはじめイベント終了時の特別清掃や休館日における重点的な機器設備の点検など、適切な保守管理委託業務が実施されている。 ●個人情報保護方針を館内とホームページに掲示して指定管理者としての姿勢を表明し、職員の研修活動を定例的に行っている。アルバイトスタッフを含め個人情報の取り扱いには細心の注意を払いながら業務にあたっている。 ●人員配置等については適正に行われており、人材育成では研修やミーティングの開催により日々職員のスキルアップに努めている。 ●危機管理については、2回の消防訓練を実施するほか緊急時に備える訓練、避難等の手順確認を定例的に行うなど職員の危機管理意識も高い。				
	施設利用提供業務	生涯学習振興を図るための施設利用提供を行っているか。	5	3(0.6)	3
	生涯学習支援事業	生涯学習支援を図るための学習教室やイベント等事業を実施しているか。	5	4(0.8)	4
	指導者・ボランティアの育成	地域学習指導者の育成やボランティア等の育成のための事業を実施しているか。	5	3(0.6)	3
	活動団体等との連携事業	地域活動団体や他施設と連携して魅力ある事業を展開しているか。	5	3(0.6)	3
	市民活動促進業務	市民活動への参加促進に向けて活動団体の情報収集・提供を行うとともに、市民活動に関する相談体制の充実を図っているか。	5	4(0.8)	4
	市民活動支援体制	市民活動支援コーナーの適正利用に向け、利用団体間で意見調整を行い、市民活動支援を図っているか。	5	4(0.8)	4
	自主事業に関する事項	利便性やサービスの向上のための自主事業等を実施しているか。	5	3(0.6)	4
事業実施状況	広報活動	施設利用促進及び生涯学習振興を図るための広報活動が成されているか。	5	3(0.6)	4
	(評価の理由) ●施設利用提供については、利用料金収入は前年度比で若干の減収となったが、利用者数及び利用団体数とも前年度を上回った。特に、無料ゾーンとなるグループ室やフリースペース・ギャラリーは、地域活動グループの育成や支援に積極的に取り組んだ成果により大幅な利用率の向上が図られた。 ●生涯学習支援事業の展開は施設設置の主要目的でもあり、様々な層の利用者拡大をめざし前年度と比較し実施回数で26%増の各種講座や教室を開催した。健康や子育て、市民活動等の様々な分野の参加者数は合計で45%の増となった。 ●指導者・ボランティアの育成は、読み聞かせサークル等のボランティア団体に活動の場を提供したり事業共催することで、助成金申請に積極的に参加するまで育成した。 ●活動団体との連携は主催する講座・教室の講師を依頼したり、イベントを共催し連携することで施設と団体、また、団体同士の信頼関係を醸成することとなった。 ●市民活動支援コーナー運営委員会を設置し事務局として情報収集・提供、相談体制の充実を図った。市民活動育成事業を立ち上げ、指導者希望者と参加希望者をつなげた。また、アリーノを中心に活動している団体でアリーノサークルネットワークを立ち上げ、小冊子を作成して新たな学習活動を求めている方に紹介するなど、アリーノを中心とした市民活動の促進、育成に努めた。 ●市民活動の促進に向けて、「市民活動支援コーナー運営委員会」の事務局として活動団体間の意見調整を行い活動を支援した。活動促進の結果として「市民活動ふれあいフェア」の開催が実現し、多くの団体の活動紹介や成果の発表の場を設定できた。 ●自主事業のクラシックコンサートは、宮前区に縁のあるアーティストなどを招いて、地域住民が集い交流した好評を博したイベントとなり定着が図られた。また、地域の専門家による文化講座は地域力を活用し多くのサークルの自立につながり、生涯学習と市民活動の支援に成果を上げることができた。 ●アリーノニュースを町会で回覧するなど幅広い広報を展開し、様々な媒体を活用した情報発信に努めた。また、アリーノの外観から施設の活動内容を理解していただくため、バス停前の外壁に「施設案内」「利用案内」を掲示したことにより幅広い方の利用促進につながった。				
収支状況	収支計画	収支計画に基づく安定した運営を行っているか	5	3(0.6)	3
	効率性	サービスの維持・向上に留意した上で効果的・効率的な予算執行が図られているか。	5	4(0.8)	4
	適切な金銭管理・会計手続き	収入と預かり金等を区別した管理を行うとともに、事業収支に関して適正な会計処理が行われているか。	5	3(0.6)	3
(評価の理由) ●収支計画に基づき、収入は予算額を上回り、支出は人件費を除きほぼ100%の執行率となっている。 ●生涯学習の振興や市民活動支援に積極的に取り組み、適切な施設管理や図書購入等のサービスの向上を図る一方、光熱水費や事務経費の執行状況を日々点検することで節減に努め、効率的な予算執行がなされた。人件費についても、職員等がスキルアップすることにより経費の抑制が図られた。 ●金銭管理や会計手続きは指定管理者のマニュアルに基づき適切に会計処理された。					

#### 4. 総合評価

評価点合計	67	評価ランク	C
-------	----	-------	---

#### 5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

指定管理期間の2年目として、初年度の経験を踏まえつつ利用者の意見・要望に耳を傾けながら迅速に対応し、事業の様々な工夫により利用率・利用者が増加したことは評価できる。また、新規事業を立ち上げるほか、利用団体との良好な連携関係を築き市民活動支援施設としての成果も上げることができた。地域図書室の環境整備や蔵書数の増加、適切な建物総合管理による快適な施設提供と万全な危機管理対策により利用者満足度の高い運営が図られた。予算も効果的・効率的に執行された。

#### 6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

施設運営上の課題として、有料施設部分と無料施設部分である市民活動支援コーナーそれぞれの役割や特性を考慮した利用提供を図るため、施設懇談会や利用者連絡会の意見、要望等を幅広く伺いながらルールづくりを進めて順次解決を図っていく必要がある。  
事業実施にあたっては市民のニーズが多様化しているため、よりきめ細かなアンケート調査や利用者の満足度調査を行い、分析・検証した改善策を次の事業の展開に反映させていくことが、地域に根ざした市民利用施設には必要である。  
また、アリーノを活動場所とする団体が順調に育成されてきており、継続した支援と新たなグループ育成に注力し、地域の生涯学習及び地域活動の拠点としての活動の活性化に引き続き努めてほしい。